

製品名: cTnI マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80531**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC, ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | / |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 遺伝子名 | cTnI |
| 別名 | CMH7; RCM1; cTnI; CMD2A; TNNC1 |
| 遺伝子 ID | 7137.0 |
| SwissProt ID | P19429 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現した cTnI の精製された組み換え断片。 |

背景

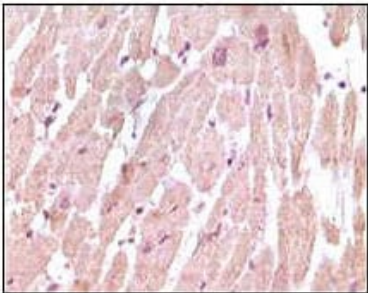
cTnI の見かけの分子量は 22.5 kDa です。cTnI は、心筋梗塞 (AMI) やその他の心疾患に対する感度と特異度が許容範囲内にある候補マーカーです。横紋筋線維の細いフィラメント (アクチン) に結合する分子であるトロポニンは、細胞内カルシウムと相互作用して

細いフィラメントと太いフィラメント（ミオシン）の相互作用を制御し、筋収縮を調節します。トロポニンIはカルシウム欠乏下での筋収縮を抑制します。トロポニンIには、アミノ酸配列の相同性が高い2つの骨格筋アイソフォームが存在します。cTnIはN末端に追加配列を持ち、心筋に高い特異性を示します。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト正常心筋組織の免疫組織化学分析。DAB 染色による cTnI マウス mAb を使用して細胞質の局在を示しています。